FACULTY of MEDICINE SHIMANE UNIVERSITY

島根大学医学部案内 2025　医学科／看護学科

今、ここで学ぶ。

未来を拓く医療人へ。

ひらけ医の扉。
燃やせ医の炎。

Shimane University
Faculty of Medicine

島根大学医学部は、国際的視野に立った豊かな教養と高い倫理観を備え、
科学的な探究心と総合的な判断能力を培った地域の医療と人類の福祉に貢献する医療人を
育成することを目的としています。
そのために医学科、看護学科では「人を見つめ」「地域と世界を見つめ」「未来につなげる」ことを3つの理念とし、
社会に開かれ、時代に応じたより良い教育・研究・診療を提供しています。
ここでの学びは、医療を必要とする人と真摯に向き合い、地域と世界の課題を知って常に挑戦し、
未来を拓く医療人へとつながります。チャレンジできる環境は整っています。
さあ、ここで“医の炎”を燃やし、地域から世界へ発信できる医療人になるための“医の扉”を拓きませんか。

CONTENTS

学部長からのメッセージ 02
７つのPOINT 03
島根大学で医学を学ぶ意味 05
医学科案内 07
看護学科案内 11
大学院案内 15
医学部附属病院案内 16
学生生活 17
キャンパスガイド 19
学生生活支援 20
入試情報 21
各種データブック 22

学部長からのメッセージ

島根大学医学部案内をご覧いただきありがとうございます。前身の島根医科大学は1976年に開学し、その後、1999年には看護学科が設置されました。2003年には島根大学と統合し現在の島根大学医学部となり、来年で医学部創設50周年を迎えます。医学部が存在する出雲市は神話のふるさととして知られ、水と緑に恵まれた自然豊かな地域であり、勉学には最適の環境です。

社会に貢献できる医療人として「プロフェッショナリズム（卓越性・人間性・説明責任・利他主義）」を重要視されています。豊かな人間性と倫理観を有すること、生命の尊厳と人格を尊重することは、医師あるいは看護師として仕事をする上で最も大切な点です。本医学部では、「プロフェッショナリズム」に関連して、「コミュニケーション能力」、「問題解決・自己研鑽能力」、「知識・技能・態度を統合し活用する能力」、「リサーチマインド」、「グローバル化への志向力」、「地域医療への志向力」などが学べるカリキュラムを整備しています。

学生生活では勉学のみならず、課外活動や趣味を通じて学内外の様々な人達と交流を持つことも貴重であり、その経験は将来の医療の実践の中で生かされます。入学後の皆さんの生活が充実したものになるように、教職員全員が全力を尽くしていきたいと思います。ここ出雲の地で私たちと一緒に学び、「プロフェッショナリズム」を有する医療人を目指しましょう。

医学部長

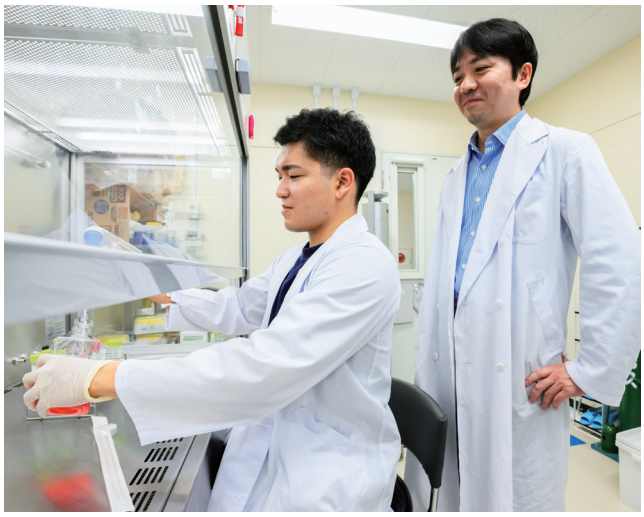
石原俊治

7 島大医学部を紐解く つのPOINT

医療の現場で必要とされるのは、
その場、その時、そして未来を見据えた地域医療。
島根大学医学部では「地域医療人の養成」を根幹に
多くの学びの場が広がっています。
ここでの学びは、医療を必要とする人と真摯に向き合い、
緊急・災害時にも最前線で活躍する、
さらに地域課題を知って世界へ挑戦し、
未来を拓く医療人へとつながります。

01 地域をフィールドとした実践的教育

地域医療が抱える課題を理解し、地域医療の現場で活用できる講義や実習が充実しています。医学科では県内約70の医療機関、看護学科では県内の病院や介護老人保健施設等で実習を行います。



02 きめ細かなサポートが行き届く指導体制

質の良い教育を行うため、研究室配属を実施し、指導教員のもとで基礎研究の手技や臨床研究の基礎を学べるようサポート体制も充実しています。また、学生生活全般についての指導や助言を行うため、指導教員制度を設けています。

03 互いに高め、学びあえる理想的な環境

教員との距離が近く、学年の垣根を越えた交流で先輩にも相談しやすい環境があります。さらには世界から注目される多様な研究・先端医療に触れられるなど、モチベーション高く学びを深めていくことができます。

04 地域と世界に貢献できるグローカルな医療人の育成

英語コミュニケーション力と国際的視野を備えた世界で活躍する医療人を育成するため、医学英語教育を６年一貫で強化しています。eラーニングを積極的に活用した英語の授業のほか、学生のニーズやレベルに合わせて自由に選択できる「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」の開設、海外研修、留学の支援など学生の英語学習を多方面からサポートします。

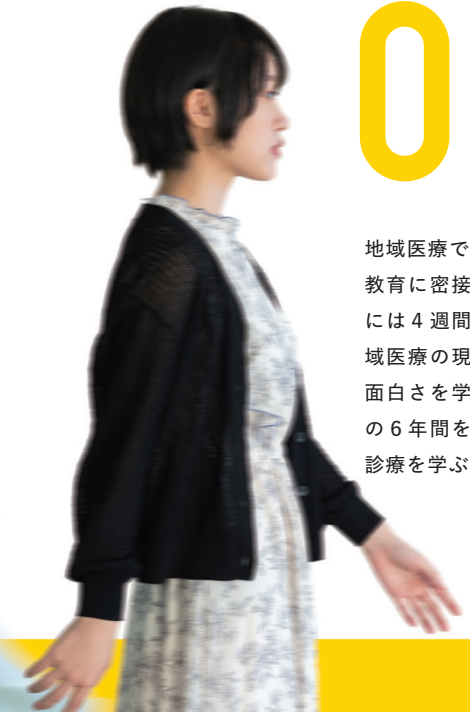
05 充実した設備・環境

実践に役立つ医療手法を学べるクリニカルスキルアップセンターではシミュレーション教育を専門に行います。情報教育施設としては情報科学演習室、eステーションがあり、eステーションはICTを活用した英語教育に特化した教育施設として利用されています。

高い倫理観や人間性を身につける早期実践教育

早期から患者さんや医療者が参画した授業を積極的に行っています。また、アクティブラーニングやPBL（問題解決型学習）を導入し、主体的な問題解決能力や自己研鑽能力の習得を図ります。

06



07 広がる視野、未来実践医療から伝える医療まで

地域医療で活躍する総合診療医が医学部教育に密接にかかわっています。５年次には４週間の参加型地域実習があり、地域医療の現場に身を置いて、やりがいや面白さを学びます。自然豊かな島根県での６年間を通じて地域医療の魅力、総合診療を学ぶことができます。

地域医療を支える医師を育てるための「隠れたカリキュラム」

地域医療教育講座 教授　長尾 大志

地域で患者さんのために真摯に医療を提供できる医師、つまりいい医師を育てるために大学として何ができるのか。「隠れたカリキュラム」という言葉があります。表のカリキュラムで「いい医師とはこんな医師です。いい医師になりましょう」と学習者に教えても誰もその通りにしませんが、「いい医療をしている」現場を見せるとそれを真似していい医療をするようになるのです。島根県の病院や診療所、クリニックなどには地域医療に真摯に取り組んでおられる先生が多くおられ、総合診療・地域医療実習で、大学医学部の学生がその姿を見て、こんな先生になりたい、こんな医療をやっていきたいと触発されています。

地域医療の課題解決から最先端医療まで

島根大学で
医学を学ぶ意味

専門的「外傷学」を研究する Acute Care Surgery

～我が国初の Acute Care Surgery 講座～

Acute Care Surgery 講座 教授　渡部 広明

交通事故を代表とする大事故、労災、大規模災害では命に関わるけが（外傷）を負うことで命を落とす人が依然として後を絶ちません。この生命危機にある重症外傷患者の病態と治療を研究する学問が「外傷学」です。これまで我が国の医学部では「外傷学」を専門的に教育する講座はありませんでしたが、島根大学ではこれを専門的に研究する新しい領域であるAcute Care Surgeryの講座を我が国で初めて2016年に設置しました。重症外傷の様々な病態を研究し、救命が難しいと考えられる瀕死の傷病者を救命するための新しい治療法について研究をしています。特に致死的大量出血を来した患者を救うためのdamage control surgeryと呼ばれる治療手法を専門的に研究し臨床実践しています。本治療の研究と導入により極めて高い救命率を達成するなど成果を上げています。現在、Acute Care Surgeryは島根大学のみが保有する講座です。島根大学はAcute Care Surgeryを学ぶ聖地と言えます。

高齢者ケアを創造し「老年看護学」を先導する

地域・老年看護学講座 教授　原 祥子

高齢者ケアにおける重要なポイントは、その人が生きてきた歴史を知ることを通して、個々のニーズや希望を理解することです。私は、高齢者の“人生の歴史を聴く”ことを実践し、そのアプローチの意義を明らかにする研究に取り組み、高齢者とケア提供者の双方にとって有意義であることを検証してきました。人生の歴史に遡って高齢者を理解することにより、一人ひとりの個別性を活かしたケアプランを立案し、焦点の合ったケアを実践することが可能になります。「老年看護学」の教育では、高齢者の“人生の歴史を聴く”ことの重要性について強調し、研究で明らかにした具体的な方法論を提示しています。

地域や世界に貢献できる、最先端の小児科診療と研究環境

小児科学講座 教授　竹谷 健

小児科では、新生児や循環器、神経、小児がん、内分泌・代謝疾患に対して世界レベルの診療を提供しています。また、島根県の子どもが心身ともに健康に成長発達できるように、新生児マススクリーニングの推進や虐待、発達障害に対する先進的な取り組みを子どもに関わる多くの職種の皆さんと協働して行なっています。さらに、小児がんの病態解明だけでなく間葉系幹細胞やiPS細胞を用いた希少難病への治療開発などの世界最先端の研究も実施しています。地域だけでなく世界に還元できる診療や研究に邁進できるのが島根大学医学部です。

薬理学的思考を習得する3D-VR シミュレーター実習

薬理学講座 教授　和田 孝一郎

医学部薬理学講座ではよりよい薬物療法をめざし、医学生さんが生涯にわたって自己研鑽を続けていくための「薬理学的思考」を習得していただきます。そのため薬の作用を体感する実習、特に3D-VRを使ったシミュレーター実習を行っています。我々が開発した3D-VRシミュレーターは動物を使用することなく何度でも実習ができ、「経験からの学び」を体感することができます。研究面ではリーキーガット症候群、腸内・口腔細菌と全身疾患発症との関連性、DICにおける血管内皮の役割、食物繊維欠乏による全身疾患発症、等に関する研究を行っています。いずれの研究も疾患発症の原因を明らかにするとともに、発症の予防も期待できることから、最新の研究成果を地域医療の現場へいち早く還元できるように努めていきたいと考えています。

医学科

定員102名
学士入学（2年次・3年次編入学）定員10名

学科長からのメッセージ

この冊子を手に取られた方々は、将来医学や医療を通じて夢を実現したい、と考えていらっしゃることでしょう。険しい道のりかもしれませんが、自分の成長を信じ、足りない部分を補い続けてください。粘り強く努力を継続する自分を信じてください。そうすれば、ゴールに近づいて行けるでしょう。島根大学医学部の目的には、「国際的視野に立った豊かな教養と高い倫理観」「科学的探求心に富む人材」、「地域社会の発展に寄与」、「人類の福祉に貢献し得る高度専門職業人」等のキーワードが含まれています。これらを達成するために、カリキュラムや設備を整え、充分なサポートができるよう教職員を配置しています。皆さんのご入学を心からお待ちしています。

医学科長　楫 靖

求める学生像

医学科では以下のような能力を身につけてきた学生を求めています。

思考力・判断力・表現力

- 人のために尽くそうとする明確な意志を有している。
- 地域医療を担う意欲と使命感を有している。
- 生命及び人に対する尊厳と倫理観及び理論的な思考力を備えている。
- 探究心が豊かであり、未知の分野に挑戦しようとする情熱を有している。
- 異文化や自分と異なる考えを受け入れ広い視野で物事を判断し思考できる。
- 自分の意見や考えをわかりやすく言葉や文章で表現できる能力を有している。

知識・技能

高等学校で履修する英語・数学・理科・社会・国語・情報において、入学後の医学部の修学に支障がないレベルの知識を有している。

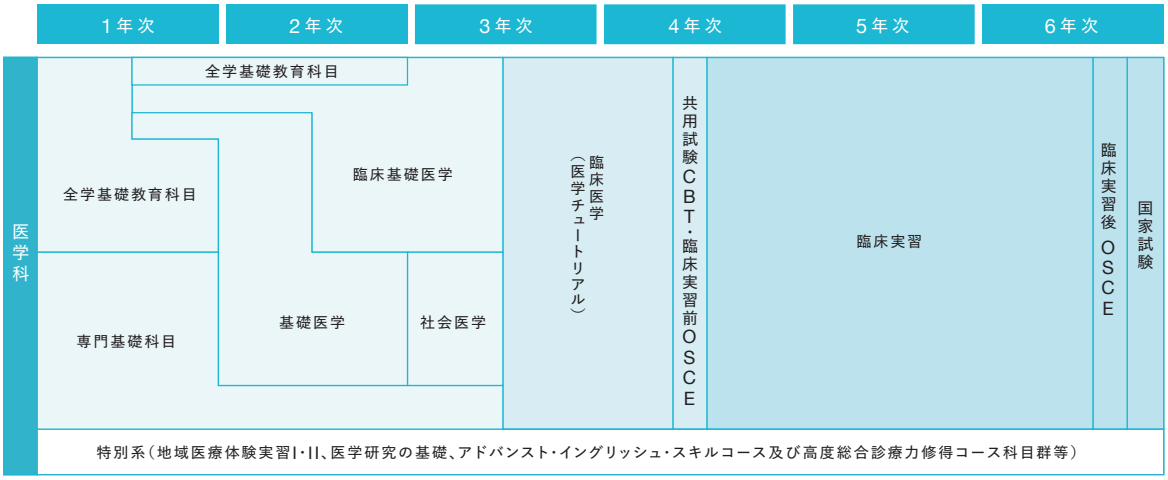
主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- コミュニケーション能力に長けている。
- 相手の気持ちを理解するとともに支持し周囲の人々と協調性を持って行動できる。

教育課程の概要

６年間の一環教育を実施しており、その教育課程は、〔全学基礎教育科目〕及び〔専門教育科目〕で構成されます。〔専門教育科目〕は、専門基礎科目、基礎医学系、臨床基礎医学系、社会医学系、臨床医学系および特別系に分類されます。なお、１年次から６年次まで、６年間一貫した医学英語教育を実施しています。

医学科 履修モデル



1-2年次

入学後の早期から地域基盤型の教育を行い、地域医療に対する高い意欲と使命感を涵養し、さらに、充実した医学英語教育や海外実習により国際的な視野を養います。また、研究体験により研究マインドを豊穣させます。

3-4年次

少人数のグループで行うチュートリアル教育では、問題を自ら発見し解決を図る能力、情報収集能力及び他者と協働できる能力などを修得します。臨床実習開始前には、共用試験CBT（コンピュータを使った知識に関する試験）及び臨床実習前OSCE（客観的臨床能力試験：技能と態度に関する試験）を実施します。

4-6年次

臨床実習（診療参加型臨床実習：クリニカル・クラークシップ）では、指導医の指導のもと実際の医療を体験し、医師になるための基本的な臨床能力を修得します。この実習は、医学部附属病院で行うほか、県下約７０の診療所・病院等で実施し、プライマリ・ケアと地域医療の基本を学びます。クリニカル・クラークシップ（臨床実習）終了時に、臨床実習で修得した技能・態度、臨床推論等の実践的臨床能力を評価する臨床実習後OSCE (Post CC OSCE)を実施します。

2年 解剖実習

4年 OSCEのための授業

5年 臨床実習

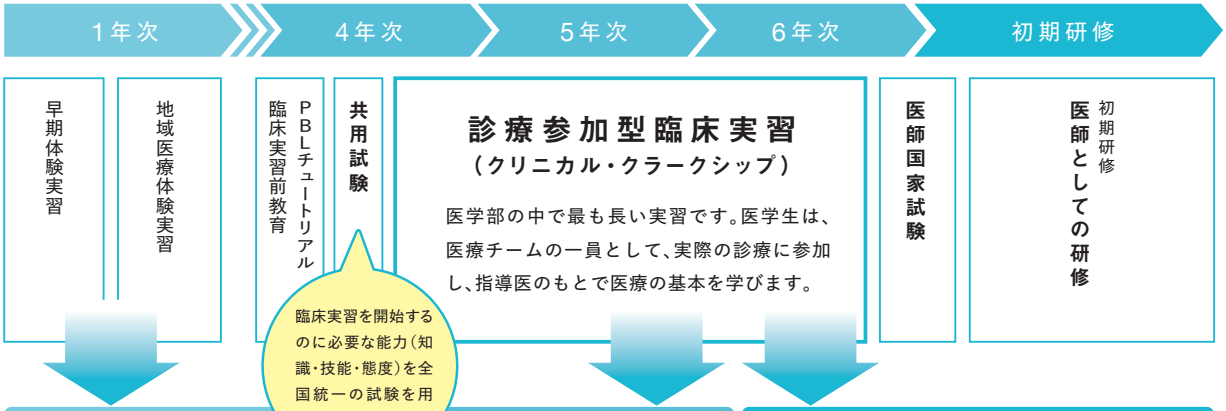
学士入学 （医学科2年次・3年次編入学）

医学の急速な進歩は、医療の専門化と高度化を導き、高度な知識と技術を持つ医師が求められています。また、近年の医療現場の複雑化に伴い、医師には広い教養と豊かな人間性、高い倫理性が要求されます。このような情勢に対応して、医学部医学科以外の分野を専攻し学士の学位を取得した者で、専門分野で学んだ知識を医学に生かすことのできる優秀な人材に対し、医学修得の道を開いています。そして、医学の研究、教育及び診療の将来を担い、地域社会の発展にも寄与できる医師の育成を目的としています。特に、専門分野で学んだ知識を生かして将来研究者を志す方のために医学研究の基礎を学び、研究に参加できる支援体制も用意し、科学的探究心の涵養を図ります。

地域枠 島根県内の高等学校等を卒業し、或いは高等学校等在学中に島根県内に在住していた者で、4年制大学を卒業した者のうち、将来、本学医学部附属病院を含め島根県下の医療機関で地域の医療を担おうとする熱意と使命感をもった者を対象に、地域枠入学制度を設け、地域医療を担う医師の育成を図ります。

臨床実習・地域医療実習

高度先進医療から地域でのプライマリ・ケアまでを学ぶことで、将来の医学・医療を担う医師として必要な幅広い臨床能力と高い倫理観を修得します。入学後の早期に医療現場を体験する早期体験実習、1年次から全学年を通して参加できる県内各保健所及び地域医療機関で行う春季・夏季地域医療体験実習並びにフレキシブル体験実習、3・4年次の環境保健医学実習、4年次後半から6年次後半にかけて行う臨床実習、地域医療実習など、地域を基盤とした臨床教育の充実を図っています。



早期体験実習

教員による指導

健康相談

海外での臨床実習

01 神田 真秀

医学科３年
（出身／島根県・出雲高校卒）

グローバルに活躍する医師を目指して

島根大学は英語に関する授業が多く、医師となる上で必要な医療英単語、医療フレーズ、英語論文の読解方法について深く学ぶことができます。海外医療プログラムも充実していて、海外で活躍できる医師になりたいと考えている私にとっては最適な環境です。春には、長期休暇を利用してガーナに医療研修に行きました。貧困地域で必要とされる医療に関心があり今後も積極的に海外医療研修に参加したいと考えています。また、大学の出会いで生まれる広い視野、新しい価値観を大切にしながら研鑽を積んでいきたいと思っています。部活動や友人との時間も充実していて楽しい学生生活を送ることができます。

02 尾崎 苑香

島根大学医学部附属病院 医師
（岡山県出身／2021年 医学部医学科卒）

向き合うことで、学び続ける医療

大学での幅広い実習経験で医療の現場を知り、卒後臨床研修を経て、本院の消化器肝臓内科に入局して１年が過ぎました。一人として同じ病状や状況でない患者さんに対応するのは容易ではなく、医療は目まぐるしく進化しているため、常に学ぶ姿勢を持って診療しています。大学在学中に、少人数グループでの臨床実習で問題を自ら発見し解決を図る能力、情報収集能力、コミュニケーション力などが習得できました。その知識、判断力、表現力は日々活かされています。島根大学を取り巻く環境はとても恵まれていて、学び、働き、暮らす場所として魅力的です。

看護学科

定員60名

学科長からのメッセージ

島根大学医学部看護学科では、地域の看護をリードできる人材として、看護師に加えて、保健師、養護教諭の免許を取得できるコースを設け、多様な看護職を育成しています。大学院に進学して助産師の免許を取得する道もあります。教育プログラムでは、看護職としての基本的な知識・技術を学ぶ他、チームとして看護を実践していけるようPBL形式のグループワークを繰り返すことで、リーダーシップやメンバーシップを鍛えています。また、実習や卒業研究などを通して、課題を自分で見つけて解決していく態度と方法を身につけていきます。そして卒業後は、4年間で学んだことを基盤に看護職として自律し、看護の未来を創っていく一員となります。皆さん、一緒に未来を創りませんか。

看護学科長　津本優子

求める学生像

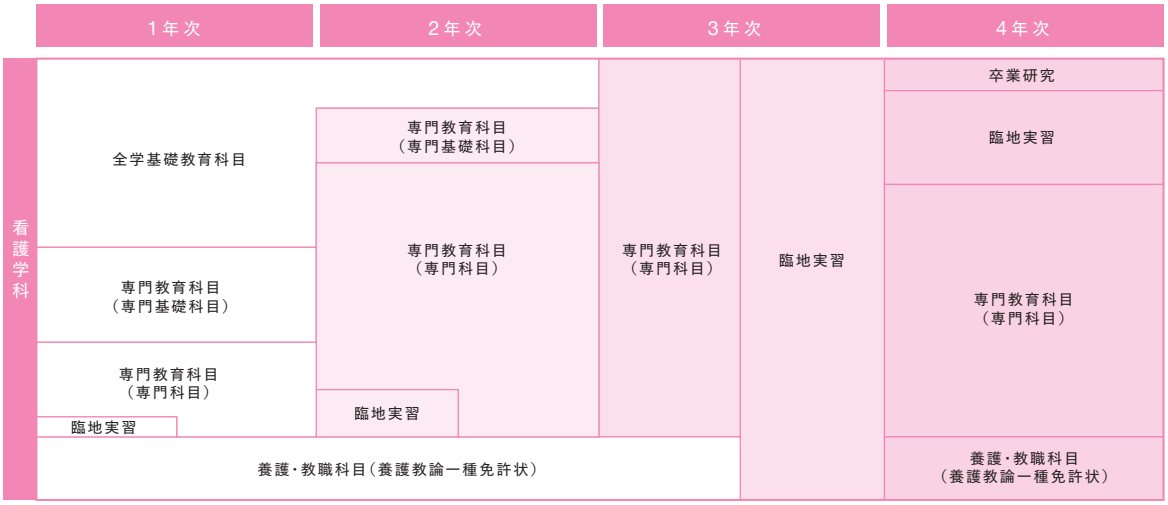
看護学科では将来、地域社会の人々の命と生活を支える
自律した看護専門職を希望する次のような学生を求めています。

1. 大学で学ぶ上で必要な基礎的学力と主体的学習態度を身につけている人
2. 他者に関心を持ち、人間を尊重し、ささえ合い、ともに歩むことのできる人間性豊かな人
3. 知的探究心にあふれ、主体的かつ論理的に問題解決を図ろうとする人
4. 志を高く持ち、夢の実現に向けて弛まぬ努力のできる人
5. 保健・医療に関心があり、将来看護に貢献したいと考えている人

教育課程の概要

地域において継続的かつ包括的な保健医療サービスを提供できる能力を有し、看護師・保健師の免許を併せ持つ”看護職”を育成するために、看護師教育課程と保健師教育課程 (選択制) を統合した4年間の教育課程を編成・実施しています。また、医療と連携できる養護教諭を育成するために、養護及び教職に関する科目を配置しています。

看護学科 履修モデル



1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次

1年次では主として全学基礎教育を履修します。全学基礎教育は「島大STEAM 科目群」「ユニバーサル科目群」「地域創生科目群」「教養育成科目群」から構成されます。また、それぞれの科目群に対応する教育目標として「現代社会の求める新たなリテラシーを身に付ける」「国際社会で必要とされる基礎的知識・技能と地球規模の視野を身に付ける」「山陰地方の地域の問題解決に資する能力・資質を身に付ける」「豊かな人生の基盤となる幅広い教養を自己の興味・関心に応じて身に付ける」の4つを掲げており、現代社会が求める基礎的な知識・能力の成長を促します。また、国際的視点の涵養のために、海外研修を自由科目として設定しています。1年次の前期に初年次教育プログラム「看護学入門セミナー」を設けています。専門教育科目を履修する準備として、レポートの書き方や文献検索方法など、学ぶ技術に関する力を身につける他、専門教育への橋渡しになるような基礎的知識・態度を養います。

1年次から2年次にかけて、看護を学ぶために必要な基礎知識である「形態と機能」や「疾病論」などの専門基礎科目を履修します。専門科目では、看護学の基盤となる「看護学原論」などの講義科目、看護を提供するための援助技術を学ぶ「療養生活援助技術演習」や「看護実践基盤技術演習」などの演習科目、さらに「基礎看護学実習」によって、看護の基本を身につけます。2年次から多様な健康問題への対応を学ぶため、「成人看護学」「母性看護学」「小児看護学」「精神看護学」「老年看護学」「在宅看護学」「地域看護学」の幅広い看護の専門領域の概論・援助論を履修します。

3年次後期からはこれまでの学習をふまえて、病院はもとより、保育所、助産院、クリニック、訪問看護ステーション、介護老人保健施設等において、各領域の実習を行います。4年次では、看護専門職としての研究マインドの育成のため、1年をかけて「卒業研究」に取り組みます。また、保健師課程選択者は、地域で暮らす人々の健康問題への対応を学ぶため、島根県全域の保健所、市町村、事業所において「公衆衛生看護学実習」を展開します。

1～2年 看護実践基盤技術演習

3年 診療時援助技術演習

3年 各領域での実習

臨地実習

臨地実習は、講義・演習で得た知識や技術を科学的思考のもとに実践、統合する授業であり、看護実践能力の基本を身につけるための重要な科目です。臨地実習では、ケアの対象のニーズを適切にとらえ、そのニーズに沿った看護実践を展開することを通して、看護専門職としての基礎的能力を習得します。そして、対象(個人および家族、集団や地域)との援助的関係を通して、対象者に学び、自己の人間観や看護観を構築します。

島根大学医学部附属病院

実習名	学年	内容
基礎看護学実習	2年次	看護の援助過程の基本を、実践を通して学ぶ。成人・老年・小児・母性・精神の各看護学実習
成人・老年・小児・母性・精神の各看護学実習	3年次	看護学の専門分野別に、健康の回復を支援する看護を実践的に学ぶ。
看護学総合実習 看護管理実習	4年次	これまでの看護学の学びを、実践を通して統合する。

その他の地域施設等

実習名	学年	実習先
早期地域看護学実習	1年次	コミュニティセンター
小児看護学実習	3年次	保育所
母性看護学実習	3年次	クリニック・助産院
精神看護学実習	3年次	クリニック・病院
在宅看護学実習	3年次	訪問看護ステーション
老年看護学実習Ⅱ	4年次	介護老人保健施設
公衆衛生看護学実習	4年次	保健所・市町村・事業所
養護教職課程実習	3・4年次	島大附属学校、出雲市小中学校

母性看護学演習

看護学演習（グループワーク）

公衆衛生看護学実習

公衆衛生看護学実習（健康教育）

取得できる資格・免許

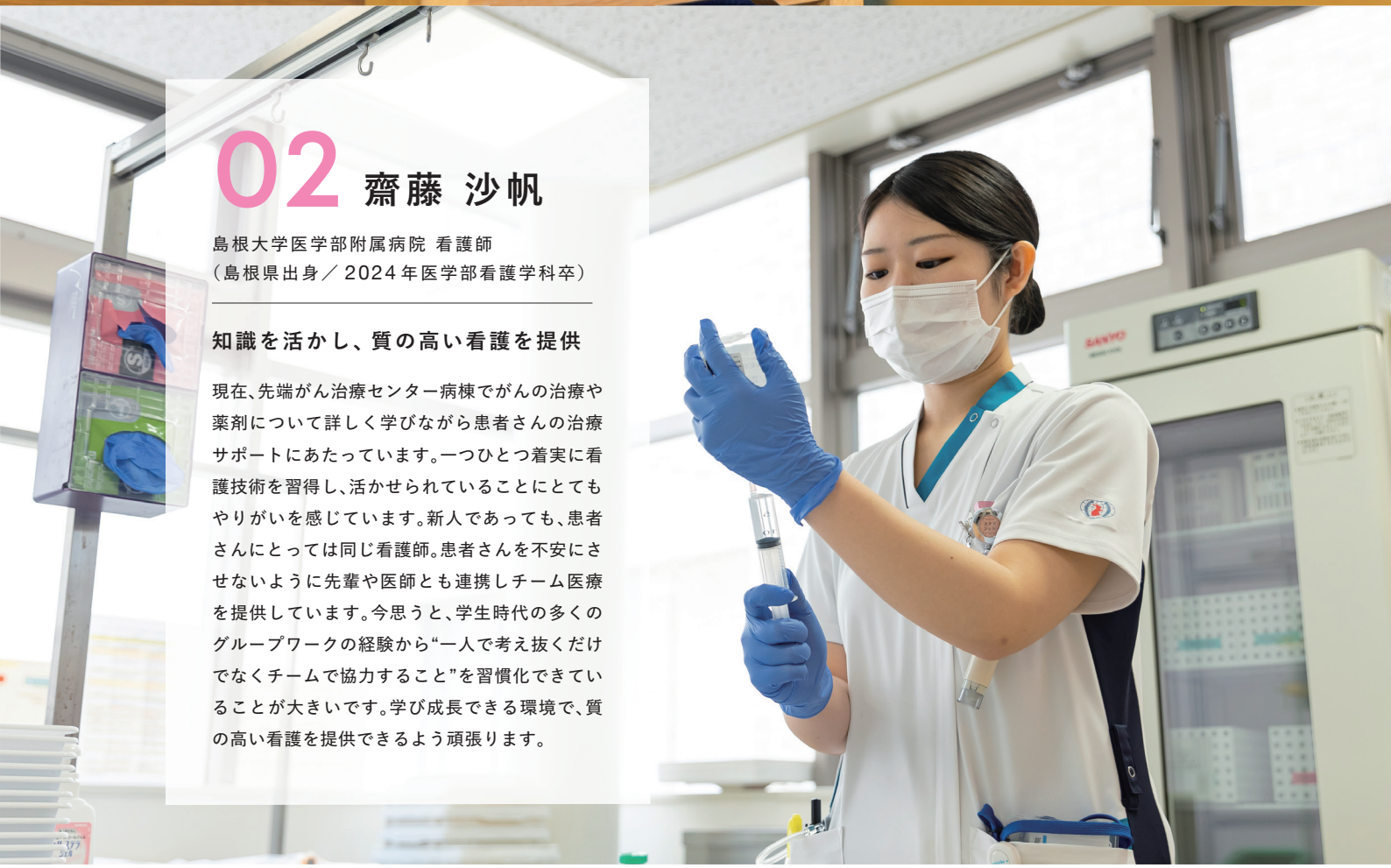
■看護師 (全員)
●保健師国家試験受験資格 (3年次後期に選択: 40名程度)
　令和4年度入学生より、保健師教育課程を選択制に変更しました。
●養護教諭1種免許 (2年次終了時に選抜:10名程度)

01 多々納 実紀

看護学科２年
（出身／島根県・三刀屋高校卒）

学びの環境が広がるコミュニティ

学びを深める上で島根大学独自の看護学科と医学科の合同授業、多職種連携を意識した授業は魅力的です。習ったことが紐づき、より理解が深まっています。学科や学年を超えた交流は多様な価値観に触れる大切な機会だと考えています。他にもボランティアで地域の活動に参加し、人との関わりで学ぶことや「頑張ってね」と声をかけてもらうことは勉強のモチベーションアップにもつながっています。最近は地元の魅力を伝えたいとＳＮＳを利用した活動を始めました。学生のうちに活発に更新し、将来は在宅看護や予防などの面から地域住民の健康を支えたいと思っています。



02 齋藤 沙帆

島根大学医学部附属病院 看護師
（島根県出身／2024年医学部看護学科卒）

知識を活かし、質の高い看護を提供

現在、先端がん治療センター病棟でがんの治療や薬剤について詳しく学びながら患者さんの治療サポートにあたっています。一つひとつ着実に看護技術を習得し、活かせられていることにとてもやりがいを感じています。新人であっても、患者さんにとっては同じ看護師。患者さんを不安にさせないように先輩や医師とも連携しチーム医療を提供しています。今思うと、学生時代の多くのグループワークの経験から“一人で考え抜くだけでなくチームで協力すること”を習慣化できていることが大きいです。学び成長できる環境で、質の高い看護を提供できるよう頑張ります。

大学院（医学系研究科）

理論と実践を融合し、人間性豊かな研究者・医療人を育成

島根大学大学院医学系研究科は、医学及び看護学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、医学の分野においては、研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えた優れた研究者の養成を、看護学の分野においては、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力と、人間性を備えた優れた研究者又は高度専門職業人の養成を目的とし、併せて医学及び看護学の発展と人類の福祉の向上に寄与することを使命としています。

医科学専攻

博士過程

標準修業年限4年 ／入学定員30名

医科学専攻博士課程は、医学の専門領域及び関連領域で自立して独創的研究活動を行うに足る高度の研究能力、豊かな学識と人間性を備えた教育、研究の指導的役割を担う人材の育成を図るとともに、医療に求められる高度な専門知識・技術及び研究能力を備えた臨床医の育成を目的としています。

- □研究者育成コース
- □高度臨床医育成コース
- □がん専門医療人育成コース
- □総合診療・地域医療コース

修士過程

標準修業年限2年 ／入学定員15名

医科学専攻修士課程は、医学部医学科以外出身の者に、総合的・学術的サイエンスとしての医科学の視点を付与し、島根大学及び地域における独自の研究・教育の実績を、教育・訓練を通じて学生に還元することを基本方針としています。

- □総合医科学コース
- □がん専門薬剤師養成コース
- □地域医療支援コーディネータ養成コース
- □医療シミュレータ教育指導者養成コース

看護学専攻

博士後期過程

標準修業年限3年/入学定員2名

看護学専攻博士後期課程は、「超高齢看護学」を構築するための高水準で独創的な看護学研究を自立して実施し、看護の質向上に貢献することによって人々が豊かな人生を享受できる超高齢社会の実現に寄与することのできる教育研究者の養成を目的としています。

「超高齢看護学」の構築を目指して

超高齢社会における多様な健康課題を創造的に探求し、看護ケア方法や看護実践モデルの開発、看護理論の生成などを行う超高齢看護開発と、これらの成果を人々が享受するための実用化と制度化を見据えた仕組みづくりに資する安全ケアシステム開発とが相互に関連し、バランスよく発展することで、世界に類を見ないわが国の超高齢社会が直面している様々な健康課題の解決に貢献することを目的としています。

博士前期課程

標準修業年限2年／入学定員12名

看護学専攻博士前期課程は、豊かな人間性と幅広い視野を基盤として科学的な視点から看護学の学識を教授研究し、卓越した看護実践能力と創造的な研究能力を持つ人材の育成を目的としています。

- □看護援助学コース
- □看護管理学コース
- □地域・在宅看護学コース
- □母子看護学コース
- □がん・成人看護学コース
- □高齢者看護学コース
- □がん看護CNSコース
- □老人看護CNSコース
- □助産学コース

医学部附属病院

病院長あいさつ

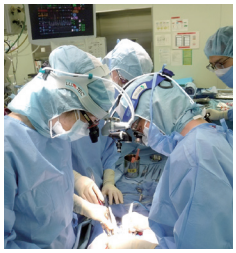
島根大学病院は「地域医療と先進医療が調和する大学病院」を理念として、地域の中核病院に相応しい医療提供体制を構築しています。手術ロボットda Vinci Xi 2台の効率的運用を図るロボット支援手術推進センター、島根県全域を対象とした外傷・救急医療を司る高度外傷センターと高度脳卒中センター、先天性心疾患に対する外科治療や小児脳神経外科（小児脳神経センター）など高難度小児疾患に対する医療提供体制の充実化、先進的な腎臓研究を展開する統合腎疾患制御研究・開発センター（IKRA）など、大学病院の総合力として地域完結型の高度医療を提供しています。教育面では、病院医学教育センター、総合診療医センターや大田総合医育成センターで卒前・卒後教育の充実化を図り、地域社会に柔軟に対応できる優れた医療人の養成を行っています。

病院長 椎名浩昭

病院の取り組み

手術支援ロボットda Vinci Xi（ロボット支援手術推進センター）

2022年10月からは手術支援ロボットda Vinci Xi 2台が稼働中で、肺がん、胃がん、直腸がん、子宮がん、前立腺がん、腎がん、膀胱がん等の悪性腫瘍のほか、縦隔腫瘍、子宮筋腫、腎盂尿管移行部狭窄等に対してもロボット手術を展開しています。



先天性心疾患に対する外科治療（小児心臓外科）

山陰地方で唯一、先天性心疾患に対する外科治療を行っています。2013年に第１例目の手術を行って以来、年間約50～70例の手術を行っています。小児循環器や麻酔科の医師、臨床工学技士、看護師の皆さんとのチーム医療によって良質な外科治療を提供しています。

統合腎疾患制御研究・開発センター（IKRA）

IKRA とは、腎臓の診療・研究に携わる内分泌代謝内科、総合診療科、泌尿器科、膠原病内科、臨床検査科、腎臓内科の6科体制の組織です。「腎臓の老化制御」を目的とした研究コアを発足し、先進的な腎臓研究を展開して行きます。

脳卒中ケアユニット（高度脳卒中センター）

脳卒中ケアユニットstroke care unit:SCUは脳卒中専門の集中治療室で、高度脳卒中センターのメンバーが24時間対応し、地域の先生方と連携しながら患者さんの回復を促します。2022年4月からは6床に増床し、より多くの脳卒中の患者さんの治療が可能となっています。

小児脳神経外科（小児脳神経センター）

新しく、こども（15歳以下）の多彩な中枢神経系疾患の外科治療を担当しています。成長・発達を常に念頭において診療にあたる必要があり、小児科など多くの関連診療科と密に連携しながら、低侵襲・短期入院で丁寧な診療を心がけています。

総合診療医センター

2021年度より島根県内の10の専門研修プログラムを準備した総合診療医育成施設を軸に島根県と連携し、オール島根で総合診療医を育成しています。専門研修プログラムが円滑に運用され、満足度の高い研修プログラムとなるよう、総合診療医センターが支援します。

東野 美海

看護学科４年
出身／大阪府
武庫川女子大学付属高校卒

OFF

剣道部のマネージャーをしています。夏休みや大会遠征は、勉強を離れて部員と過ごす特別な時間。なによりチームが勝ったときは嬉しくて、本当に剣道部でよかったと思います。ここでの思い出は私の宝物です。

ON

4年生になり、保健師の資格を取るための実習や卒業研究に力を入れて日々を過ごしています。病院実習では、慣れないスケジュール管理や症状が違う患者さんに向き合うことは大変でしたが、自ら考えたり貴重な意見を聞いたりして答えを導きだすこと、友達と支えあい乗り越えられたことは看護を職とする上で自信とかけがえのない経験になりました。実習期間を経て「看護」というものだけでなく、人としてどのように成長していきたいかなど将来についても考えが深まりました。また、島根大学周辺の環境も素敵で、大山に登ったり川へ涼みに行ったり、夜にドライブをして星を見に行くなど友達と自然を満喫し、学生生活を楽しんでいます。

ON & OFF

人としても成長する充実した学校生活

OFF

フットサル部に所属し、今は夏にある「オールメディカル」というフットサル大会でベスト４を目指して練習に励んでいます。フットサル経験はなかったのですが、部の雰囲気がよく、もともとサッカーが好きだったこともあり入部を決めました。部活と勉強の両立は大変なときもありますが、みんな条件は同じ。部員みんなで切磋琢磨しあって頑張っています。ここでの経験は、忍耐力やコミュニケーション力など医学の勉強とは違った自身の成長もあります。医療もフットサルも“チーム”で行うことは変わりません。島根大学は、学生が進んで学ぶなら尽力してくれる体制が整っていて、教育熱心な先生ばかりです。悔いのない充実した学生生活が送れる大学です。

上田 大輔

医学科４年
出身／兵庫県
淳心学院高校卒

ON

今は9月末にあるCBTに向けて、映像授業やQBオンラインなども活用し勉強に励んでいます。将来は、患者さんに寄り添った医師になり、臨床だけではなく研究も積極的に行っていきたいと思っています。

CLUB CIRCLE

授業以外で貴重な体験を得る場として
課外活動があります。
出雲キャンパスには約 50 団体があり、
多くの学生が学内外で活動を行っています。

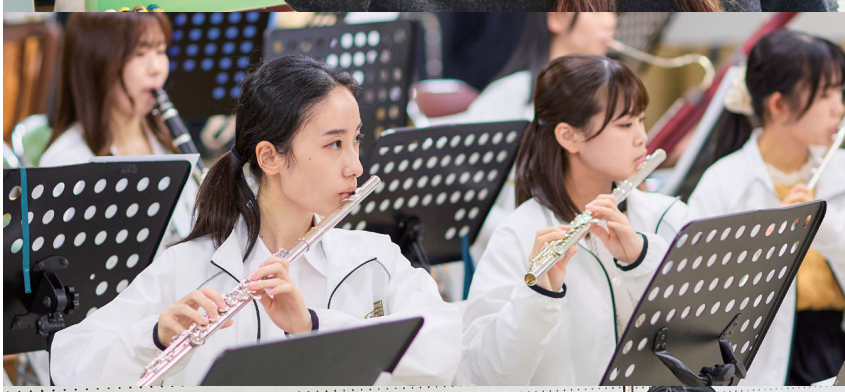
体育系

- サッカー部
- 剣道部
- 準硬式野球部
- 硬式庭球部
- バスケットボール部
- 卓球部
- 弓道部
- 陸上競技部
- 馬術部
- 山岳部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 空手道部
- 少林寺拳法部
- ソフトテニス部
- 水泳部
- ラグビー部
- フラッグフットボール部
- 合気道部
- テニス同好会
- ダンス部
- SMFC （Shimane Medical Futsal）
  フットサルサークル
- 医学部柔道部

文化系

- 地域医療研究会
- 芸術倶楽部
- シュールカメラート管弦楽団
- 茶道部
- 軽音楽部
- 写真部
- キンダーフロイント
- 合唱部
- 陶芸部（桂医窯）
- ガーデニングクラブ
- 手話サークル
- 農園クラブ
- 国際交流サークル~IFMSA-Shimane~
- SCOP
  （Skill Conquest and Output Program）
- Jazz研究会
- フローラ室内楽団

＊出雲キャンパスでは、この他に
任意団体（10サークル）が活動しています。



キャンパスガイド（医学部）

島根大学は松江市と出雲市に広いキャンパスを持つ総合大学です。医学部は島根医科大学を前身とし、島根大学としては5番目の学部で、出雲キャンパスに教育の拠点を構えています。出雲キャンパスは600床のベッドを備える高度先進医療の医学部附属病院と、教育・研究中心の学部ゾーンに分かれ、機能的に配置された建物が緑の木々の間に建てられています。

1 学生アメニティスペース

講義棟１階には飲食可能な学生アメニティスペースがあり、勉強やリラックス、グループでの集まりなど多目的に利用できます。机やコンセントがあり、持参したパソコンを使用することもできます。

2 医学図書館

図書約14万冊、学術誌約2千6百誌を所蔵し、電子ジャーナルや、各種文献データベースなども提供しています。医学部の学生と教職員は、学生証等で認証を受けることで24時間入館できます。

3 医の庭

講義棟と実習棟を結ぶ全天候型の屋外パブリックスペースです。「講義」と「実習」が密接に関わり、上級生と下級生の縦のつながりが実感できる空間で、学生たちの憩いの場にもなっています。

4 クリニカルスキルアップセンター

多彩な医療用シミュレータを備え、目的に応じた17の演習室で診療技能を身に着けることができる施設です。授業だけでなく、教員の指導のもとで自学自修やグループ学修で使用することも可能です。

5 英語学習支援室「e-clinic」

英語学習用書籍、パソコン、メディア教材等様々な学習用のリソースが揃っています。専任の英語教員が利用者の学習支援や相談を行っているほか、様々な英語学習の場としても活用されています。

6 ラーニング・コモンズ

移動間仕切り壁が設けられ、1部屋又は2部屋で使用できるラーニング・コモンズは、臨床実習時の学生教育や学生の休息場所、また、研究交流の場所として利用されています。

学生生活支援

島根大学医学部では、学生一人ひとりに応じたきめ細やかな学生相談、修学支援等を実施しています。
経済的に困難な学生については、授業料の免除制度、各種奨学金制度等を整えています。

入学料・授業料・各種免除・融資制度

入学時に要する費用

入学料	282,000円(予定額)	授業料	半期267,900円 (年額)535,800円
その他	傷害保険料、後援会費、学友会費など(※編入学生は別途) 医学科117,000円程度(入学時)看護学科83,000円程度(入学時)		

(在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。)

授業料免除制度・高等教育の修学支援新制度(授業料減免)

■高等教育の修学支援新制度による減免

対象:学部学生(留学生を除く)

概要:住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯を対象とし, 日本学生支援機構の給付型奨学金とともに授業料の減免が受けられる制度です。

島根大学授業料等奨学融資制度

本学は、山陰合同銀行と連携した「島根大学授業料等奨学融資制度」があります。学生本人が授業料・入学料の融資を受け、在学中は本人が支払うべき利息を奨学援助金として大学が支払う制度です。卒業後、元金、利息を返還することになります。

奨学金制度・保険・補償制度

奨学金制度

[奨学金・高等教育の修学支援新制度(給付奨学金)]

■高等教育の修学支援新制度(給付奨学金)について

2020年４月以降に本学の学部生(留学生・大学院生を除く)として在籍の方は、(1)授業料等の減免(2)日本学生支援機構の給付奨学金の給付(原則返還が不要の奨学金)の2つの支援を受けることができます。支援区分により、授業料・入学金(新入生のみ)の減免額と給付奨学金の支給を受けることが出来ます。

※支援は3つの区分により免除額, 奨学金支給額が3段階となります。※申請には収入・資産や学業成績等の要件を満たす必要があります。

[日本学生支援機構奨学金]

学業成績、人物ともに優れた学生で、経済的理由により修学困難な方には、選考のうえ、奨学金が貸与されます。

令和5年度貸与月額

第一種奨学金(無利子)	自宅通学:月額20,000円、30,000円、45,000円から選択
	自宅通学以外:月額20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から選択
第二種奨学金(有利子)(在学中は無利子)	2万円～12万円(1万円単位)で選択します。

[医学生地域医療奨学金]

卒業後、島根県内で勤務する意思のある医学生を対象とした奨学金です。所定の条件を満たすと返還が免除されます。
詳しくは島根県のホームページを参照ください。https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiikiiryousyougakukin.html

令和5年度貸与月額

入学金相当額(入学年のみ)	282,000円	月額	100,000円	授業料相当額(年額)	535,800円

[その他の奨学金]

日本学生支援機構以外の奨学金情報が検索できます。 https://www.jasso.go.jp/about/statistics/shogaku_dantaiseido/index.html

学生教育研究災害傷害保険/学研災付帯賠償責任保険

教育研究活動中及び通学中等に万一事故により、身体に傷害を被った場合あるいは他人に対する賠償責任が発生した場合の補償制度で、医学部学生は全員加入します。また、臨床(臨地)実習中の感染事故(針刺し等)や賠償責任にも24時間対応可能な保障内容となっている「学研災付帯学生生活総合保険」も併せて加入されることを推奨しています。

大学生活の支援

指導教員制度

学生生活全般について、指導や助言などを行うため、指導教員制度を設けています。修学上の問題はもとより、私生活についても気軽に相談に応じています。

健康管理(メンタルヘルス)

学生相談室では相談員(教員、カウンセラー)があらゆる面での相談に応じ、問題解決の糸口が見つかるようアドバイスし、時には出雲保健管理センター、担当指導教員、学務課とも連携し、自主的に解決できる道が開けるよう支援を行っています。

福利厚生

学生の福利厚生を図るため大学会館があり、この中には、出雲保健管理センター、食堂、売店、サークル施設などがあります。また、附属病院内のコンビニ、理容室、美容室、簡易郵便局、キャッシュコーナー、自動販売機なども利用できます。

住居・アルバイト

出雲には学生寮がありませんので、大学周辺の学生生活に適したアパートなどの情報提供などを行っています。また、アルバイトを希望する学生には、大学生協出雲店で、修学に支障のない程度のアルバイトを紹介しています。

入試情報

本学医学部においては多様な入学試験を実施し、多様な学生が入学し、共に学んでいます。
自分をしっかり表現できる入学試験を選んでチャレンジしてください。

医学科

一般選抜

［前期日程（一般枠）］

大学入学共通テスト、個別学力試験（数学、英語、面接）の総得点を基準に合格者を決定します。

［前期日程（県内定着枠）］※

島根県の医療に貢献する強い意志のある学生を全国から求めるものです。大学入学共通テスト、個別学力試験（数学、英語、面接）の総得点を基準に合格者を決定します。

※緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜及び前期日程（県内定着枠）は、実施を含めて文部科学省と協議中です。決定次第、本学ホームページ（入試情報）に公表します。

学校推薦型選抜

［学校推薦型選抜Ⅱ］

出身学校長の推薦を受けた者について、大学入学共通テスト、小論文成績、面接、調査書、学校長の推薦書、自己推薦書を総合評価して合格者を決定します。

［地域枠学校推薦型選抜］

生まれ育った島根県内のへき地医療に貢献しようとする強い意志のある学生を求めるものです。出願前にへき地医療機関・社会福祉施設での医療福祉体験活動を行うとともに、生まれ育った市町村の長等の面接を行います。詳しくは「学生募集要項」を参照ください。

［緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜］※

島根県の医療に貢献しようとする強い意志のある学生を全国から求めるものです。出願前に医療機関での医療体験活動を行うとともに、島根県担当者の面接を行います。詳しくは「学生募集要項」を参照ください。

編入学

［学士入学（2年次・3年次編入学）］

医学以外の分野で学士の学位を取得したもので、専門分野で学んだ知識を医学に生かすことができる優秀な人材を求め、医学修得の道をひらき、医学教育、研究及び診療の将来を担う人材の育成を図ります。
また、島根県内の高等学校等の卒業者で、島根県下の医療機関で地域の医療を担おうとする熱意と使命感を持った者を対象に地域枠を設けています。学力試験、面接、出願書類などを総合評価して合格者を決定します。

不測の事態等が生じた場合は、実施方法等を変更することがあります。変更を行う場合は、本学ホームページ（入試情報）に公表します。

看護学科

一般選抜

［前期日程］

大学入学共通テスト、個別学力試験（小論文、面接）の総得点を基準に合格者を決定します。

［後期日程］

大学入学共通テスト、個別学力試験（面接）の総得点を基準に合格者を決定します。

［専門高校・総合学科卒業生］

大学入学共通テスト、個別学力試験（小論文・面接）の総得点を基準に合格者を決定します。

学校推薦型選抜

［学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）］

出身学校長の推薦を受けた者について、大学入学共通テスト、小論文成績、面接の結果を総合して判定します。調査書等の出願書類は面接時の参考とします。

［学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）］

将来、県内の医療機関等に勤務して地域の医療を支える熱意のある学生を求めるものです。高校入学後出願までに医療機関が実施する看護体験を2日以上経験することを要します。高校からの推薦が必要で、大学入学共通テスト、小論文成績、面接の結果を総合して判定します。調査書等の出願書類は面接時の参考とします。

不測の事態等が生じた場合は、実施方法等を変更することがあります。変更を行う場合は、本学ホームページ（入試情報）に公表します。

令和7年度入試日程

選抜区分			出願期間	試験日	合格発表
医学科	学校推薦型選抜	学校推薦型選抜Ⅱ	2024.11.1（金）～7（木）	2024.12.7（土）	2024.11.14（木）［第1次合格発表］ 2025.2.12（水）［最終発表］
		地域枠		2024.12.7（土）～8（日）	2025.2.12（水）
		緊急医師確保対策枠	未定	未定	未定
	一般選抜	前期日程［一般］	2025.1.27（月）～2.5（水）	2025.2.25（火）～26（水）	2025.3.7（金）
		前期日程［県内定着枠］	未定	未定	未定
	編入学	学士入学（2年次・3年次編入学） 一般枠、地域枠	2024.7.16（火）～19（金）	［第1次選抜］ 2024.8.24（土）	［第1次合格発表］ 2024.9.6（金）
				［第2次選抜］ 2024.9.21（土）～22（日）	［最終発表］ 2024.10.9（水）
看護学科	学校推薦型選抜	一般枠	2024.11.1（金）～7（木）	2024.12.7（土）	2025.2.12（水）
		地域枠			
	一般選抜	前期日程	2025.1.27（月）～2.5（水）	2025.2.25（火）～26（水）	2025.3.7（金）
		後期日程		2025.3.12（水）	2025.3.22（土）
		専門高校・総合学科卒業生選抜		2025.2.25（火）～26（水）	2025.3.7（金）

※緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜及び前期日程（県内定着枠）は、実施を含めて文部科学省と協議中です。
決定次第、本学ホームページ（入試情報）に公表します。
※令和7年度入試日程は変更になることがあります。

各種データブック

■出身高校所在地別入学者数　■国家試験結果
■過去の志願者数・合格者数

■データで見る島根大学

実は研究力のある国立大
週刊東洋経済(2018.2.10)より

大学の地域貢献度ランキング
日経グローカル(2023.11.6)より

■出身高校所在地別入学者数(令和6年4月入学)

学科	医学科		看護学科		計(人)
入学定員	102【10】		60		162【10】
収容定員	612【40】		240		852【40】
区分	男	女	男	女	計
北海道	1	0	0	1	2
東北	2	0	0	0	2
関東	6	7	0	1	14
中部	5	4	0	3	12
近畿	13	13	0	8	34
中国	15	20	0	46	81
四国	2	0	0	1	3
九州・沖縄	7	7	0	4	18
その他	0	0	0	0	0
計(人)	51	51	0	64	166
編入学	5	5			10

(注)入学定員、収容定員【 】内は外数で編入学

■過去の志願者数・合格者数

医学科

区分			入試年度				
			R2	R3	R4	R5	R6
学校推薦型	推薦Ⅱ	志願者数	95	70	107	105	86
		合格者数	25	25	25	25	25
	地域枠	志願者数	12	13	21	11	7
		合格者数	4	6	9	9	2
	緊急医師確保対策枠	志願者数	14	27	24	14	14
		合格者数	6	9	8	4	6
一般	前期(一般枠)	志願者数	427	363	390	595	451
		合格者数	62	59	58	56	65
	前期(県内定着枠)	志願者数	26	27	38	54	36
		合格者数	7	3	4	8	6
学士	2年次編入	志願者数	54	32	53	35	54
		合格者数	8	5	5	9	8
	3年次編入	志願者数	24	21	50	45	48
		合格者数	6	5	6	6	6

(注)合格者数には、追加合格者数を含みます。

看護学科

区分			入試年度				
			R2	R3	R4	R5	R6
学校推薦型	一般枠	志願者数	26	31	27	15	25
		合格者数	10	10	12	10	14
	地域枠	志願者数	7	8	4	12	5
		合格者数	5	5	3	5	1
一般	前期	志願者数	96	46	114	40	101
		合格者数	36	35	35	30	36
	後期	志願者数	149	80	208	76	186
		合格者数	12	11	11	12	13
欠員補充第2次募集		志願者数				90	
		合格者数				7	
専門高校・総合学科卒業生入試		志願者数	5	4	6	1	4
		合格者数	2	2	2	1	1

(注)合格者数には、追加合格者数を含みます。
(注2)3年次編入学は平成31年度入試を以って廃止しました。

■令和6年度入試合格者成績情報

区分	総得点				大学入学共通テスト				個別学力試験			
	配点	最高点	最低点	平均点	配点	最高点	最低点	平均点	配点	最高点	最低点	平均点
医学科前期(一般枠)	1160.00	1046.40	882.00	916.48	700.00	638.40	509.50	569.21	460.00	408.00	299.00	347.27
看護学科 前期	860.00	594.90	508.80	535.29	700.00	487.60	400.60	436.59	160.00	119.30	71.30	98.70

(注)看護学科後期は公表しない。

■国家試験結果[過去5年分](新卒者)

(%)

医師	第114回(令和元年度)	第115回(令和2年度)	第116回(令和3年度)	第117回(令和4年度)	第118回(令和5年度)
島根大学	89.9	91.7	96.1	90.6	95.9
全国平均	95.6	94.8	93.5	95.3	96

(%)

看護師	第109回(令和元年度)	第110回(令和2年度)	第111回(令和3年度)	第112回(令和4年度)	第113回(令和5年度)
島根大学	100	100	100	98.2	100
全国平均	94.7	95.4	96.5	95.5	93.2

(%)

保健師	第106回(令和元年度)	第107回(令和2年度)	第108回(令和3年度)	第109回(令和4年度)	第110回(令和5年度)
島根大学	98.3	100	96.4	100	98.2
全国平均	96.3	97.4	93.0	96.8	97.7

令和4年度より、保健師教育課程は選択制となりました。

OPEN CAMPUS 2024　医学科・看護学科　オープンキャンパス2024

対面及びWEBで開催予定です

詳細は島根大学ホームページをご確認いただくか、島根大学医学部学務課入試担当までお問い合わせください。

TEL 0853-20-2087　FAX 0853-20-2079

人とともに 地域とともに
島根大学 医学部
SHIMANE UNIVERSITY

■入試に関するお問い合わせ
島根大学医学部（出雲キャンパス）学務課 入試担当
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
TEL 0853-20-2087　FAX 0853-20-2079
Mail:nyusi@med.shimane-u.ac.jp

島根大学 入試情報〈PC〉
https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

島根大学医学部ホームページ
https://www.med.shimane-u.ac.jp/